



快報来る!! 南米支部の發展

昭和九年十一月十日

サンパウロ州ノロエステ線
ルツサンピラ驛第一アリアンサ

東亞天文協會南米支部 神屋信一

京都帝國大學花山天文臺

山本一清先生 御侍史

謹啓 獅子座流星の觀測のため一同十月末から緊張してやつて居ります。先生始め皆々様御變りも御座りませんか、大颯風では御心配のことで御座いましたでせう。なにしろ京阪地方が中心だといふので私達も心配致しました。高城先生から御手紙を頂戴致します迄は全く不安でありました。やつと安心は致しましたが復舊工事にまた御骨折りで御座りませう。(中略)

今回先般御寄附申上げました土地の登録を伯國政府に致すことになりましたので御手数ながら東亞天文協會代表者の先生から支部の私に、『信濃海外協會理事永田稠氏がブラジル・サンパウロ州ノロエステ線ルツサンピラ驛第一アリアンサに於て所有の土地の内より二町五段歩を東亞天文協會支部敷地として協會に寄附したものを譲り受け、之れを管理することを委任する』といふ委任狀を御作製下さつて(公證役場へ登録して)それを神戸駐在の伯國領事に査證して戴き、至急御送付御願ひ申上げます。誠に御めんどうで申譯ありませんが正式な地權を獲得致して置く爲めにはどうしてもこれだけ致さなければなりません。當地に於ての登録税は三百ミルレエ位かゝるらしいのですが、これは私等で負擔いたします。その後地租等一切支部に於て負擔致します。將來どなたが御研究にこられても經費には少しも心配は御座りません。經費がないために閉鎖しなければならぬ様なことはありません。

來年春までに先生が御出張になられませぬ様でしたら私が歸朝するといふことに決定いたしました。さうして種々御打合せを致し、その上で大窪、勝浦兩君が歸朝することになりました。

今年になつてから随分來訪する方が多く相當天文といふことに關心をもつ

て貰ふ様になりました。少し設備でも出来てこゝ二三年も経ましたら面白くなると信じてゐます。

主な來訪者は内山代理大使、古關書記生、井上海外興業株式会社々長、宮崎高等農林松岡校長、同校日野博士、福島高商柳原教授、ブラジル拓植組合（これは日本の海外移住組合聯合會のことで理事長平生氏です）専務理事宮坂國人氏、同總務部長加藤好之氏、同總務次長部奈恭一氏、總領事館勸業部北村政吉氏、チエテ移住地齊藤支配人、アリアンサ移住地日沖支配人、日伯新開三浦社長、西澤信濃移住組合理事

その他視察者が殆ど訪問されるので百姓の方影響甚大であります。しかし有がたいことゝ感謝して居ります。特に日伯社長はわざわざ訪問して下さいたのでありまして一月二十日歸朝するから花山に山本先生を御訪問し實状を委しくお話するといつておられました。氣壓計がないといふ話をいたしましたら早速社長がアマゾン探險に使用された記念の氣壓計を贈られました。仲々立派なものでブラジルで五六百ミルreisするさうです。これで支部の財産も一つふえました。

水野先生からも阪本先生の二十センチの鏡をどうして送ればよいかといつてこられましたので、これは信濃海外協會に御依頼することに致します。

此の様に皆様から多大の御後援を受けまして一同毎日感激しつゝ、仕事に精進いたして居ります。どうか御安心下さいませ。

先づは右御願ひに併せて近況御知せ申上げます。（一月八日受信）

.....

た よ り

拜啓（前略）

今度廣津先生其の他二三の御方様の御援助により表記の場所に小さな研究的工場を作つて頂きました。大體の仕事は、私が顯微鏡工場に働いて居りました關係上、小さい「レンズ」を（一二人の小供を入れて）少し大量的に作り、其れを基礎と致し、餘勢を以て色々研究致したいと思つて居ります。拜具

足 立 英 一